

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

<u>自治体提示の地域課題名（注1）</u>	No. 2	自治体提示の地域課題名	自治体名
		高齢者が健康で安心して暮らし続けられるまちづくり	裾野市
チームがつけたアイデア名（公開）（注2）	裾野市の防災意識の向上		

（注1）地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名（公開）	みじんこ		
チーム属性（公開）	1．市民、2．市民 / 学生混成、3．学生 ドロップダウン選択➡		2.学生
チームメンバー数（公開）	4 名		
代表者（公開）	小澤知歩		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

< 応募の際のファイル名と送付先 >

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

< 応募内容の公開 >

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名（[メンバー一覧ページ](#)を参照）、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうる判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

< 知的所有権等の取扱い >

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OK なら右欄の○を選択 ➡	○
--	---

<チームメンバー名簿： [メンバー一覧ページ](#)>

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明は (1) アイデアの内容 (活動)、(2) アイデアの理由 (なぜなら)、(3) 実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容 (公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動 (サービス) を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

< 解決したい課題のポイント >

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアが、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

< 提案するアイデアの内容 >

災害意識の低下問題

過去に南海トラフの東側と西側で大規模地震が時間差で起きた事例がある中で夏休み中に南海トラフ地震臨時情報が発表され、静岡県や裾野市に住む人々が不安や恐怖を感じたと思う。

そんな中で静岡県や裾野市に住む人々の防災に対する親近感がないと考えられる。

若者などは、自分事として考えられないや自然災害のリスクを認識できていないや家庭で防災教育を行っていないなどがある。そのため、防災意識が低下していると考えられる。

災害意識低下によるデメリット

- ・ 災害時に咄嗟の判断ができない
- ・ 災害時の被害が拡大する（避難の遅れなど）
- ・ 実際に危険回避の行動を取らない事例が見られる

災害意識向上を目指して！！！！

私達は、裾野市民の災害意識向上を目指して、市内の様々なところに防災ポスターを貼り付け市民のみんなに防災の知識を身につけていただき、いざ大地震や南海トラフが起きた際に最善の対応ができる人を増やし一人でも多くの人々を救いたいと思い、市内に防災ポスターを貼ることを決めました。

他にも、今まで以上に防災の怖さを実感して今の自分の状況を理解して欲しいです。

そのために、裾野校生が裾野市民の方々に対して 12 月までに裾野市役所の方々に協力してもらい市内に私達の手でポスターを貼りたいと思います。



--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜこのアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考：以下のように理由を書いていきます>

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

アイデアを提案する理由

私達がこのアイデアを提案する理由を説明します。まず、実際に南海トラフや大地震が起こった際に逃げ遅れたり何もできずに死んでしまうのは切ないし勿体ないから、静岡県民や裾野市民の人々がしっかりとした知識を身につける必要があると考えました。

防災意識を高めよう！

災害が起こる前に対策することは？？



防災グッズ

災害が起こる前に必要なものを備えておこう！

ハザードマップ

家族で避難場所を確認しておこう！



★静岡県防災というアプリでどこに逃げたらいいかわかる。



防災意識を高めるために

市役所の方に防災について聞いたお話をポスターとしてまとめ、そして、市役所に持っていき、掲示してもらう。

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大きな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大きな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

< 以下のように分けて書いていきます >

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大きな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

実現する主体

裾野校生が主体となって活動します
支援団体は裾野市役所、裾野高校の方々

実現に必要な資源

裾野市役所
スーパーマーケット
裾野高校
コンビニ

実現にいたる時間軸を含むプロセス

これからの時間軸
11月・・・ポスターを裾野市内に貼る

その後
ポスターを見て裾野市民の災害意識が高まり、被災者が減る